

13年前の大震災がリアルに甦る！

避難所生まれのアーティストが伝える震災講話

明朗大学8月講座は47名の聴講生が出席、東日本大震災・原子力災害伝承館の語り部・遠藤昭三さんを講師にお招きして開催しました。大地震、大津波、さらに原子力災害の複合災害から13年。忘れかけた忘れることのできない大災害をダンボールアートの誕生秘話を始め、リアルな体験をもとに生々しい語りは聴講生の心に響くものがありました。最後には講師先生作成のダンボールアートのミニチュアのプレゼントをめぐるじゃんけん勝負に沸きました。



素敵なプレゼントをめぐる
三人の戦い（じゃんけん）



見事なダンボールアート

令和6年度 矢沢地区小地域福祉活動計画 第1回策定委員会 開催

8月7日に委員会を開催、委員21名の互選により新たに委員長に佐藤智明氏、副委員長に高橋秀造氏を選任。また、活動計画策定の完了に伴い、委員会の名称を「住民福祉活動計画企画委員会」と改称し、設置要項も改正されました。引き続き、住民福祉活動計画の推進、矢沢地区地域福祉懇談会実施に向けて、今後の具体的な取組等について意見交換がなされました。



第58回全国道場少年剣道大会に出場

県大会で優勝した晨武館Aチーム（藤田琉煌君・五十嵐芽悦さん・横島くるみさん）は7月30日に日本武道館で開催された全国大会に出場し活躍されました。その報告に矢沢振興センターを訪れました。



五十嵐芽悦さん(左・5年)
横島くるみさん(右・6年)

令和6年度 「議会との意見交換会」

【花巻市議会報告会】

8月6日、菅原ゆかり議員をはじめ4名の議員さんが出席、地域からは19名が出席しての標記懇談会が開催されました。始めに6月定例会の概要と常任委員会からの報告。続いて事前に矢沢地域振興会から提出の化成工場の悪臭問題、空き家対策、有害鳥獣対策等の課題を中心に義務教育学校の課題も含め7名の方からの発言がありました。また他地域から移住してきたという若い方からは、悪臭問題について地元の方の考え方を知りたく参加したという発言もありました。



訂正とお詫び」前号の第2回自然探訪教室の記事の中で「・・・トレーニングで鍛錬になった。住友重工製の日本丸の出港を見ることができ、66歳の誕生月に・・・」と訂正願います。

明朗大学移動研修は9月25日（水）

明朗大学の9月講座は、県南地方（一関市の芦東山（あしとうざん）記念館等）への移動研修となっております。

お申し込みの方は9月25日（水）に矢沢振興センターに集合願います。

出発：09時00分

帰着：16時30分頃

参加費：2,000円



【矢沢小学校図書ボランティアの募集】

矢沢小学校の図書ボランティア「どんぐり」では、読み聞かせや図書室の整理を行っています。読み聞かせは毎週木曜日の朝活動を行い、低学年も高学年も楽しみにしている活動です。

子ども達のために、一緒に図書ボランティアをしてくださる方を募集します。

興味のある方は、活動を見に来ていただき、参加希望の方は、いつでも学校までご連絡ください。

連絡先：矢沢小学校 副校長 ☎・23-2179



活動参加をお待ちしています！

♡赤ちゃんお誕生おめでとうございます！

矢沢地域振興会では、赤ちゃんが健やかに育つことを願い「赤ちゃん誕生祝い」として、新生児を対象にささやかな記念品を贈呈しています。ご連絡をお待ちしています。

連絡先：矢沢振興センター (☎：23-2171)



9月のこども
広場は9月
11日(水)、
25日(水)
10時～
待ってまー
す！



山月会提供

✿ 移動図書館(ぎんが号) 運行日程 ✿

9/5 (木)	団地会館	13:40~14:00
9/5 (木)	福祉センター	14:15~14:45
9/18 (水)	高木観音	09:20~09:50
9/18 (水)	振興センター	10:05~10:35
9/18 (水)	やさわこども園	10:50~11:20

● 9月1日は防災の日

- ・非常持ち出しの準備
- ・自分の居住地をハザードマップで確認



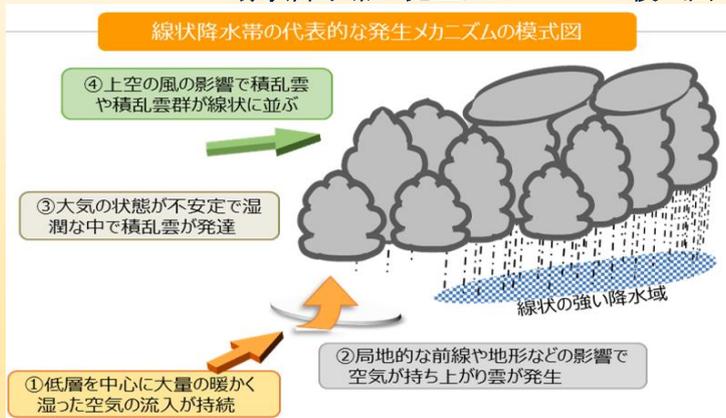
【事務局員のつぶやき】(9月1日は防災の日、引き続き台風・秋雨前線による大雨に注意・警戒！)

今年のお盆は台風の進路に大きく影響されました。今後も台風の影響に加えて秋雨前線による長雨も心配されます。そこで近年よく耳にする線状降水帯について改めてお話しします。線状降水帯とは、「次々と発生する発達した雨雲(積乱雲)が列をなし組織化した積乱雲群によって、数時間にわたってほぼ同じ場所を通過または、停滞することで作り出される線状に伸びる長さ50~300km程度、幅20~50km程度の強い降水を伴う雨域」を言っています。

毎年のように線状降水帯による顕著な大雨が発生し、数多くの甚大な被害が生じており、岩手県でも平成25年8月9日の雫石、矢巾・紫波、大迫のラインでの短時間(6時間くらい)で200ミリを超える豪雨の例があります。気象庁では、新しい予測技術に基づいて令和6年5月27日から線状降水帯による大雨の半日程度前からの呼びかけについて、対象地域を府県単位に絞り込んで呼びかけを行っています。線状降水帯の予測は技術的に難し、中率が低いのも事実です。大雨の恐れのある場合には大雨警報や「キキクル(危険度分布)」など他の気象情報と合わせ防災対応をお願いします。

「気象庁提供」

線状降水帯の発生メカニズムの模式図

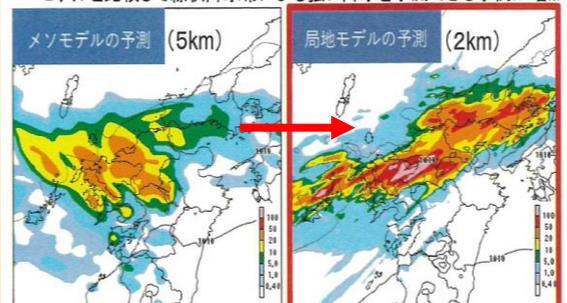


- ① 低層を中心に大量の暖かく湿った空気の流入の持続
- ② 局地的な前線や地形などの影響で空気が持ち上がり雲発生
- ③ 大気の状態が不安定で湿潤な状態の中で積乱雲が発達
- ④ 上空の風の影響で積乱雲や積乱雲群が線状に並ぶ

- ・各種観測データ・数値予報等による予想
- ・予報官による判断 ⇒ 情報発表

水平解像度2kmの局地モデル(LFM)

- ・18時間先まで延長された解像度の高い局地モデルの活用により、メソモデルと比較して線状降水帯による強い降水を予測できる事例が増加



数値予報モデルの改良により降水予測の精度改善(今までの5kmメッシュ(格子)から2kmメッシュへと高解像度化)